A 市, B 市の水道料金について調べてみたところ, それぞれの市の 1 か月あたりの水道料金は, 次のように定められていた。

## |水道料金 = 基本料金 + 使用量ごとの料金

## A市

基本料金	使用量	使用量ごとの料金
2000円	0m <sup>3</sup> 以上 20m <sup>3</sup> 以下	0 円
	20m³ 以上 50m³ 以下	$20\mathrm{m}^3$ を超える分について $, 1\mathrm{m}^3$ あた
		<u>り100円</u>
	50m <sup>3</sup> 以上	$50\mathrm{m}^3$ までの料金に加え $50\mathrm{m}^3$ を超
		える分について $, 1 \mathrm{m}^3$ あたり $140$ 円

## Β市

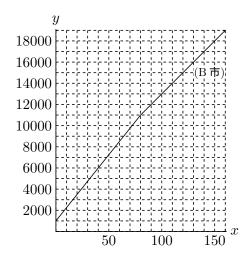
基本料金	使用量	使用量ごとの料金
	0m <sup>3</sup> 以上 80m <sup>3</sup> 以下	$1\mathrm{m}^3$ あたり $125$ 円
1000円	80m³以上	$80\mathrm{m}^3$ までの料金に加え, $80\mathrm{m}^3$ を超
		える分について $, 1 \mathrm{m}^3$ あたり $100$ 円

このとき、次の問いに答えよ。

- (1) 1 か月あたりの使用量が  $30 \text{m}^3$  のときの A 市の水 道料金を求めよ。
- (2) 1 か月あたりの使用量が xm³ のときの水道料金を y 円とする。A 市における各場合について, y を表 わす式をつくれ。

ア 
$$0 \le x \le 20$$
 のとき  
イ  $20 \le x \le 50$  のとき  
ウ  $50 \le x$  のとき

(3) 右の図はB市における使用量と水道料金の関係を表わすグラフである。この図に、A市における使用量と水道料金の関係を表わすグラフをかき入れよ。



〔福井〕